

2008.3.1

世界で活躍する
日本の演奏家 **第1回 小澤征爾 特集**

プログラム

今回は日本の演奏家特集の第1回として、小澤征爾の指揮をお聴きいただきます。小澤征爾は1935年生まれ。“世界のオザワ”が代名詞になっている程、世界的な指揮者といって良いでしょう。しかし、その一方で、“そんなに海外で有名になりたいの？”ウィーン国立歌劇場の音楽監督に就任した折には“日本人にオペラが分かるの？”といった冷ややかな声が聞かれるのも、悲しいかな事実のようです。小澤の場合、日本より海外での評価が高く、今やフランスでは神格化されている程です。なぜなのか？それは今日まで世界各国で数々の名演を聴かせ、業績を残してきたからに他なりません。今回の特集で小澤再評価のきっかけとなれば、と願っています。

アーロン・コープランド (1900~1990) :
舞踊音楽 “ロテオ” ~ホーダウン

小澤征爾指揮サンフランシスコ交響楽団 (1975.6.14 東京文化会館来日Live)

ヨハネス・ブラームス (1833~1897) :
ピアノ協奏曲第1番ニ短調op.15 ~ 第1楽章から、第2楽章から、第3楽章から
ルドルフ・ゼルケン(P) / 小澤征爾指揮ボストン交響楽団
(1978.3.15 東京・普門館来日Live)

マヌエル・デ・ファリャ (1876~1946) :
舞踊音楽 “三角帽子” ~序奏/粉屋の踊り/終幕の踊り
小澤征爾指揮ロンドン交響楽団 (1977.8.7 ザルツブルク祝祭大劇場Live)

ヨハン・シュトラウス (1825~1899) :
喜歌劇 “こうもり” 序曲
小澤征爾指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
(2002.1.1 ウィーン・ムジークフェラインザール生中継Live ~ニューイヤーコンサートより~)

*** 休憩 ***

ヘラ・バルトーク (1881~1945) :
管弦楽のための協奏曲 ~ 序奏から、終曲
小澤征爾指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
(1990.1.14 ウィーン・ムジークフェラインザールLive ~ウィーン・フィル定期演奏会デビュー~)

ピョートル・チャイコフスキー (1840~1893) :
交響曲第4番ニ短調op.36 ~ 第1楽章から、第3楽章後半~第4楽章
小澤征爾指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
(1988.5.30 ベルリン・フィルハーモニーホールLive)

クスタフ・マーラー (1860~1914) :
交響曲第8番変ホ長調 “千人の交響曲” ~ 第2部 ゲーテ “ファウスト” 終幕から
小澤征爾指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
ルーシー・ピーコック (ソプラノ) / マルガ・シムル (アルト) / ドナルド・グローブ (テノール) /
ジークムント・ニムスゲルン (バス) / バイエルン放送合唱団 / 南ドイツ放送合唱団 / 北ドイツ放送合唱団 他
(1975.9.19 ベルリン・フィルハーモニーホールLive ~ベルリン芸術週間より~)